

総合的な学習の時間

夢・未来へ（キャリア教育・小中連携教育）

6年1組

授業者 中島 明美

■ 単元の目標

- これまでの学習や経験をもとに、自分の将来にかかわる課題を設定し、主体的に追求することができる。
- 様々な情報収集手段を活用したり、多くの人とかかわりながら、意見を交換したりすることで、自分の学習に役立てることができる。
- 学習を通して考えたことをもとに、自分の将来の夢をもつことができる。

■ I C T 活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

「みんなのためにできること」の発表にあたっては、グループウェアを使用してまとめるようにする。その際、効果的なプレゼンテーションができるように、ポイントとなる言葉や写真をしぼってまとめるように支援する。また、本時ではテレビ会議システムを使って直接中学生と意見交流活動を行う。有効な活動を行うことができるよう、相手が伝えようとすることうよくとらえ、こちらの意見を明確に伝える力（表現力）を育てていくようになる。

○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

中学生との意見交流にあたっては、事前に自分の考え方や相手にたずねたいことを明確にしておきたい。こうした手順をふむことで、実際の意見交流活動の時間の中でさらに新たな考えが生まれるようにし考えが深まるようになる。

■ 本時の授業の概要

本単元は、キャリア教育の一環として、児童が将来どのような分野で仕事をしたいか、といった視点で進めていく活動である。第1次には、「学校のみんなのためにできること」というテーマで、学校をよりよくするための活動を行った。第2次には「父の仕事・母の仕事」について調べ、両親の働く様子を知った。このような活動を通して、働くことの意義を考えたり、働く両親に感謝をするという体験を積み重ねてきた。このような体験を踏まえ、第3次では「夢を見つけよう」をテーマに、これからどんな分野で仕事をしたいか、自分の夢をさがしていく活動を行う。その中で、本時は、中学校生活の様子を知るために、竹園東中学校の生徒とテレビ会議を通して意見交流を行う。その中でこれまでの体験を伝え合ったり、中学生の意見を聞いたりすることで、希望をもって中学校へ進学することができるよう支援していきたい。さらに、将来の夢へ向かって新たな見通しをもつことができるようになら。

本時の目標

中学生との意見交流活動から、自分の中学校生活や将来への新たな見通しをもつことができる。

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|--|--|
| 1. 本時のめあてを知る。 中学生と意見交流を行い、夢に一步近づこう。 | 司会の児童がテレビ会議の流れについて説明を行うようにする。 |
| 2. テレビ会議を行う (1) 小学校からの発表を行う • 「みんなのためにできること」の発表 〈校庭の砂入れ〉 〈校舎内の飾り作り〉 • 中学生への質問 | 2~3グループが発表を行うようにする。 事前に質問事項を考えておくようにする。 電子黒板、グループウェアなどを使い、相手を意識して発表できるようにする。 |
| (2) 中学校からの発表を聞く • 中学校の学習、生活、行事の様子 • 夢とこれからの進路 • 職場体験学習について • 質問に対する回答 | 夢の実現に向けて、努力していることを伝えてもらう。 |
| (3) 意見交流活動を行う • お互いの発表を聞いて感じたこと。 • もっと知りたいこと。 • 小学生からのお礼。 • 中学生からの励まし。 | 気軽にお互いに意見が言えるようにする。 意見交流活動の方向性がずれそうなときは、教師が入り修正する。 本時の活動をふり返り新たに知ったことや考えたことを伝え合うようにする。 |
| 3. テレビ会議を通して学んだことをふり返る • ふり返りカードへの記録 | ○中学生との意見交流活動を通して、自分の夢を確認することができたか。 |